別紙１

物流マッチングイベント「ロジスク」に、ぜひご参加ください！

ワークショップによる
物流マッチングイベント
ロジスク

「ロジスク」とは

北海道の「運べない不安」を解消するため、発・受荷主、物流事業者、倉庫事業者の皆様が、信頼できるパートナーとつながるきっかけとなる物流マッチングイベントです。

5つの行政機関、北海道トラック協会、北海道商工会議所連合会、学識者で構成するロジスク実行委員会が、中立の立場で主催しています。

2026「ロジスク」開催日程

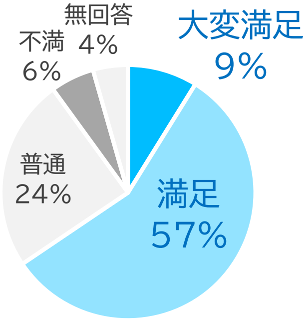
7/23(木)　函館市内
8/20(木)　旭川市内
9/17(木)　釧路市内
10/15(木)　札幌市内
※開催時間はいずれも13:30～16:30

広がる「ロジスク」の輪

多数の企業が参加

2023～2025年の3年間で、延べ300以上の企業が参加

高い満足度



2025年は2/3の参加企業が「大変満足」又は「満足」と回答

一方で、「荷主等の参加がほしい」、「参加者が少ない」との声も…

信頼できる物流パートナーとつながり、そしてその輪が広がる。それが、「運び続ける」北海道の未来を支えます。

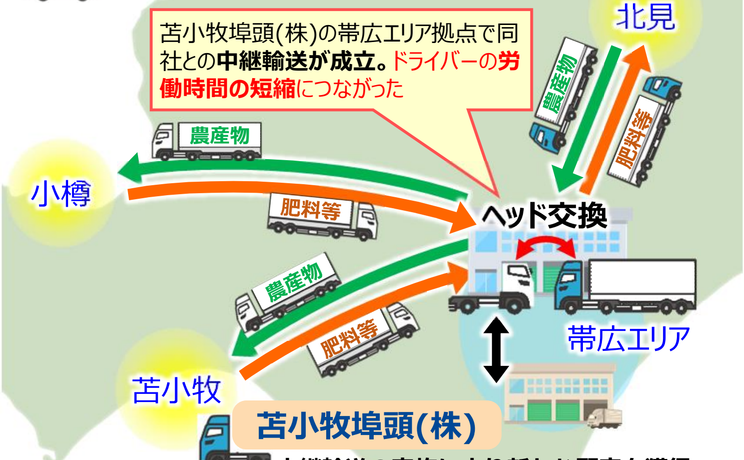
発・受荷主、物流事業者、倉庫事業者の皆様も、ぜひ2026「ロジスク」への参加をお願いします！

ぜひご参加ください!

事例1 「トレーラーヘッド」の交換による中継輸送 ドライバーの労働時間を短縮！

マリネックス(株)

小樽～北見間、苫小牧～北見間をそれぞれ輸送していたが、**長距離輸送**となりドライバーの**労働時間短縮**が必要に



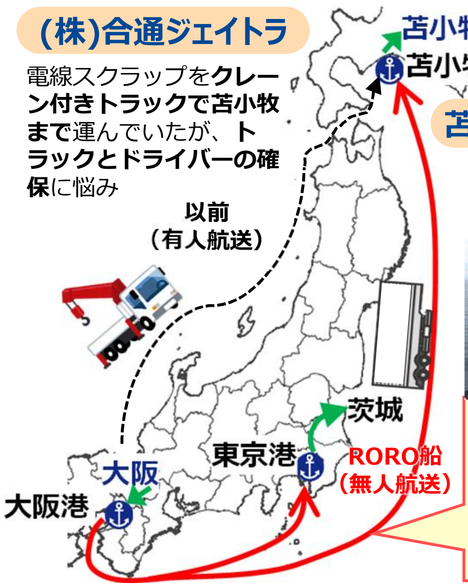
苫小牧埠頭(株)

中継輸送の実施により新たな顧客を獲得

事例2 大型トレーラー×RORO船無人航送 効率的な輸送を実現！

(株)合通ジェイトラ

電線スクラップを**クレーン付きトラックで苫小牧まで運んでいたが、トラックとドライバーの確保**に悩み



苫小牧栗林運輸(株)

新規事業の獲得とトレーラーによる効率的輸送につながった

ロジスクでの**苫小牧栗林運輸(株)**との出会いをきっかけに**同社の大型トレーラーと栗林商船(株)のRORO船を用いた無人航送が実現**

事例3 鉄道にモーダルシフト ドライバー不足に対応しCO2も排出削減！

(株)MLS

札幌から函館まで、トラックだけで輸送していたが、ドライバーの人手不足と労働時間の短縮に悩み

ロジスクでの**日本貨物鉄道(株)**との出会いをきっかけに**輸送の大部分を鉄道輸送にモーダルシフト。**ドライバー**労働時間の短縮とCO2の排出削減**につながった。

日本貨物鉄道(株)

新規事業の獲得と貨物の積載率の向上につながった

別紙２

【道南ロジスク　募集要項　】

１．概要

北海道開発局では、関係機関・団体と協力しながら「生産空間」を支える物流のサービス水準確保に向けて、令和５年度から物流マッチングイベント「ロジスク」（別紙１）を開催し、共同輸送・中継輸送の実現を支援してきました。

さらに、令和７年にロジスク実行委員会を設立し、関係機関等の連携の下、２０２４年問題を始めとした物流課題に向けて、『ロジスク』をより効果的に運営するために取り組んでいるところです。

今回、この取組を広げるため、道南エリアにおいてロジスクを開催しますので、共同輸送・中継輸送等の実現に向けて、ご参加いただける荷主・物流事業者・倉庫事業者（以下、「事業者」と言います。）を募集します。

主　催：ロジスク実行委員会
【行政機関】北海道開発局、北海道運輸局、北海道経済産業局、北海道農政事務所、北海道
【関係団体】（一社）北海道商工会議所連合会、（公社）北海道トラック協会
【アドバイザー】北見工業大学　髙橋 清 教授、北海商科大学　相浦 宣徳 教授

２．開催日時・募集期間

＜開催日時＞
日時：令和８年７月２３日（木）１３：３０～１６：３０

＜場　　所＞
函館北洋ビル８階ホール（函館市若松町15-7、JR函館駅より徒歩１分）

＜参加募集期間＞
期間：令和８年７月１日（水）～令和８年７月１７日（金）

＜実施対象＞
道南地域を経路に含む輸送に課題を持つ発・受荷主、倉庫事業者及び物流事業者
※例「旭川⇔函館」「北広島⇔函館」「室蘭⇔函館」「札幌⇔（函館経由）⇔本州」など

３．実施内容

＜開催方法＞

- １テーブル３～４社程度によるワークショップ形式や、１テーブル２社による1on1形式での話し合い時間をそれぞれ複数回設定し、参加の事業者と共同輸送・中継輸送等の実現に向けた話し合いの場を設けます。
- 自社の物流課題やマッチング相手に希望する条件など、事業者と自由な意見交換ができます。（当日の進行は事務局が行います）。
- テーブル分けは、申込時にWEBでご入力いただくエントリーシート（別紙３-WEBフォームのサンプル）を踏まえ事務局が決定します。
- ワークショップ終了後、テーブルの配席に関係なく参加者間での交流時間（フリートーク）を設けます。

※１テーブル当たりの事業者数や、１回当たりの意見交換時間、話し合う回数は、参加申込み状況を踏まえ、事務局で調整することがあります。

＜その他＞

- ロジスクによる意見交換中は、率直かつ自由な意見交換を確保するため、非公開とします。
- 事後アンケートに、個別に情報交換等を行いたい事業者がいる旨を記載いただければ、継続的に事務局がフォローいたします。
- 参加事業者名や当日の次第、開催状況等は、北海道開発局Webサイト等に掲載されます（意見交換の内容は公開いたしません）。

４．募集内容

- 応募者多数の場合については、会場収容人員の都合により先着順とします。
- １社あたり２名までがテーブルに着座していただけます。なお、今年度はオブザーバーを募集しておりませんのでご了承願います。
- エントリーシート（別紙３-WEBフォームのサンプル）に入力いただいた内容（電話番号、メールアドレスを除く）は、「ロジスク」の円滑な話し合いのため、ワークショップの参加者間で共有します。

５．申込み方法

- 参加を希望する事業者は、下記ＵＲＬからお申し込みください。

参加申込みURL： https://forms.gle/sGU74f1dttfijpXMA

＜参加申込み等の問合せ先：『道南ロジスク』運営事務局＞

■窓　口　　北日本港湾コンサルタント㈱
（北海道開発局からの業務受注者）
■担　当　　市川・石川
■連絡先　　011-281-9111
■お問い合わせフォーム：https://forms.gle/BEuKcYVcgaKQHDLi7

６．その他

- ワークショップは非公開としますが、ワークショップ終了後のセクションにおいて、報道機関等による会場の様子のカメラ撮影がありますので、あらかじめご承知おきください。
- ロジスクの開催にあたって主催者が取得した個人情報は、「ロジスク」の円滑な運営のほか、主催者からの連絡に使用させていただき、他の目的には使用いたしません。
- 『ロジスク』の運営に当たっては、地域に即した物流課題への対応や地元企業の参加促進を促すため、運営体験（協力）いただける方も募集しております。ご希望される方は、プレスリリース資料表紙の問合せ先までご連絡願います。

これは見本です

別紙３

エントリーシート（道南ロジスク申込み用）

■ 緑色の箇所は直接入力、青色の箇所はプルダウンより「レ」を選択し該当箇所の入力をお願いします。

【注】これは見本です。印刷した紙に記入しても申込みは出来ません。募集要項の「5. 申込み方法」のとおり、申し込んでください。

チェック項目（共通）			
● 個人情報の提供に同意してください。	→		1頁
● 基礎情報をすべて入力して下さい。	→		2頁
● 事業所分類を選択してください。	→		
選択チェック項目（事業者分類で①～③を選択）			
① 荷主			
「2. 貴事業所が連携可能な輸送」を入力してください。	→		3頁
② 物流事業者			
「2. 貴事業所が連携可能な輸送」を入力してください。	→		3頁
「3. 貴事業所が連携可能な倉庫または一時倉庫」を入力してください。	→		4頁
③ 倉庫事業者			
「3. 貴事業所が連携可能な倉庫または一時倉庫」を入力してください。	→		4頁
チェック項目（共通）			
● 4. ロジスク参加にあたり、他企業に対する一言PR・解決したい困りごとなど（自由記述）　※100文字程度でお願いします			5頁

※下記1.～4.の内容（電話番号、メールアドレスを除く）は、「道南ロジスク」の円滑な話し合いのため、参加事業者に配布する資料に掲載いたしますので、ご理解・ご協力願います。
※ご提供いただいた個人情報は、「道南ロジスク」の円滑な運営のほか、主催者からの連絡に使用させていただき、他の目的には使用いたしません。
※会社名のみは、開催状況等の報告のために北海道開発局Webサイト等やその他の報告資料に掲載することがあります。

レ 上記の内容に同意します。

1. 基本情報

これは見本です

項目	記入欄	備考
会社名		※参加代表者の勤務する会社名をご記入ください
所属部署		※参加代表者の所属部署名をご記入ください
役職		※参加代表者の役職名をご記入ください
参加代表者名		※参加代表者の名前をご記入ください
電話番号		※参加代表者の連絡先となる電話番号をご記入ください
メールアドレス		※参加代表者のメールアドレスをご記入ください
その他の参加者名		※参加代表者以外の参加者がいる場合に1名のみご記入ください

事業所分類

該当箇所は"レ"を選択

分類	選択	備考
荷主（卸売）		「2．事業所が連携可能な輸送」を記入してください。
荷主（小売）		
荷主（製造）		
荷主（その他）		
物流事業者（トラック）		「2．事業所が連携可能な輸送」を記入してください。 「3．貴事業所が連携可能な倉庫または一時倉庫」を記入してください。
物流事業者（鉄道）		
物流事業者（海運）		
物流事業者（航空）		
物流事業者（その他）		
倉庫事業者		「3．貴事業所が連携可能な倉庫または一時倉庫」を記入してください。

2. 貴事業所が連携可能な輸送

これは見本です

▼該当する番号を下記の選択肢から選び、表へ記入をお願いします。（複数回答可）

	貴事業所の輸送							
	輸送の出発地・到着地	輸送品目	温度帯	輸送時間帯	使用車種			
					小型トラック	中型トラック	大型トラック	その他・トレーラー
例	1. 函館圏⇒札幌方面	2.水産品	2.冷蔵	4.深夜		4. 冷凍冷蔵車		
1								
2								
3								
4								
5								

【圏域区分】

＜函館圏＞

渡島総合振興局管内
及び檜山振興局管内

輸送の出発地・到着地

1. 函館圏⇒札幌方面
2. 函館圏⇒旭川方面
3. 函館圏⇒十勝方面
4. 函館圏⇒釧路方面
5. 函館圏⇒稚内方面
6. 札幌方面⇒函館圏
7. 旭川方面⇒函館圏
8. 十勝方面⇒函館圏
9. 釧路方面⇒函館圏
10. 稚内方面⇒函館圏
11. 函館圏内の輸送

輸送品目

1.農産品
2.水産品
3.日用品・雑貨
4.新聞
5.食料品・飲料
6.金属製品・機械
7.化学工業品
8.繊維工業品
9.その他

温度帯

1.常温
2.冷蔵
3.冷凍

輸送時間帯

1.早朝
2.日中
3.夜間
4.深夜

小型トラック

1.平ボディ
2.バンボディ
3.保冷車
4.冷凍冷蔵車
5.その他

中型トラック・大型トラック

1. 平ボディ
2. バンボディ
3. ウィングボディ
4. 冷凍冷蔵車
5. その他

その他・トレーラー

1. 鉄道コンテナトラック
2. セミトレーラ
3. フルトレーラ
4. その他

3. 貴事業所が連係可能な倉庫または一時倉庫

これは見本です

▼該当する番号を下記の選択肢から選び、表へ記入をお願いします。（複数回答可）

	貴事業所の倉庫または一時保管倉庫							
	所在地（市町村）	倉庫種別	保管形態	温度帯	搬入方式	時間帯	連係可能時期	「その他」選択の自由記入欄
例	北斗市	1．屋根付きTC型	2．ボックスパレット	1．常温	1．フォークリフト	4．24時～6時	7月～8月	スポット貸し出し（応相談）
1								
2								
3								
4								
5								

所在地（市町村）	倉庫種別	保管形態	温度帯	搬入方式	時間帯	連係可能時期
（自由記入）	1．屋根付きTC型	1．パレット	1．常温	1．フォークリフト（プラットフォーム）	1．6時～12時	「自由記入）
	2．屋根付きDC型	2．ボックスパレット	2．冷蔵	2．フォークリフト（地上）	2．12時～18時	
	3．一時保管倉庫（コンテナ）	3．その他	3．冷凍	3．人力	3．18時～24時	
	4．野積み倉庫				4．24時～6時	
	5．輸送倉庫					
	6．その他（右端欄に具体的に記載）					

4. ロジスク参加にあたり、他企業に対する一言PR・解決したい困りごとなど（自由記述） ※100文字程度でお願いします

現在の文字数： 0文字

別紙　4

北海道開発局 開発監理部 開発調整課　あて

（Mail：hkd-ky-seisankuukan@gxb.mlit.go.jp）

取　材　申　込　書

取材を希望する場合は、この様式により上記連絡先までメールでお申し込みください。

〇道南ロジスク　取材申込期限：令和８年７月２１日（火）１２：００

■会社名及び部署名

____

■取材者　役職・氏名（全員の役職・氏名を記載願います）

①（取材者の代表）______________________________

②______________________________

③______________________________

■連絡先（上記①の方の連絡先）

メールアドレス______________________________

電話番号______________________________

■テレビカメラの持ち込みの有無

（該当するものにチェックをつけてください）　□有　・　□無

※ご提供いただいた個人情報は、「ロジスク」の円滑な運営のほか、主催者からの連絡に使用させていただき、他の目的には使用いたしません。